

図書だより



今月の目標!

◇平和についての本を読もう
令和4年6月号



へいわ せんそう ほん よ
平和と戦争の本を読んでみよう!



6月23日は「いいいの日」です。78年前、20万人をこえる人々がなくなった、とても悲しい沖縄戦が終わりました。沖縄県は6月23日を「いいいの日」と定め、戦争でなくなった人々の霊をなぐさめ、平和をいのる日としました。石垣島でも戦争のためにたくさんの方が亡くなりました。そして、世界では今も、戦争で苦しんでいる人々がいます。白保小学校図書館には戦争や平和について書かれた本や絵本があります。人々が戦争でどんな思いをしたのか、どうしたら平和な世界になるのかを考えるきっかけに、まずは1冊手にとってよんでみてください。



『へいわとせんそう』
へいわのかぞく/せんそうのかぞく
へいわのどうぐ/せんそうのどうぐ
なにがちがう? なにがおなじ?



『てっぽうをもったキジムナー』
地上戦のはじまった沖縄。
病気で歩けない少女さちこは、
祖母を失いひとりぼっち。
意識をうしなったさちこを助けた
キジムナー、その正体は……

『マンガで伝える 沖縄戦』

「活字嫌いな人や、また漢字の読めない子どもにも沖縄戦を伝えたい」という思いで作られた本。



『へいわって どんなんこと?』

へいわは、おなががすいたら、だれでもごはんがたべられる。ともだちといっしょにべんきよ



『テツちゃんの十五年戦争』
この物語の主人公「テツちゃん」が石垣島で生まれて十五歳になるまで、日本は戦争をしていました。沖縄戦とは別のかたちの八重山の戦争はどうだったでしょうか。



『せんそうしない』
にんげん以外の地球上の生きものはだれもせんそうしません。なぜにんげんの大人だけが、せんそうをやめられないのでしょうか。

『みのかさ隊奮闘記』

戦争末期の石垣島で、子どもから老人まで軍隊経験のないふつうの人たちでつくられた「みのかさ隊」の物語。



『へいわって すてきだね』

「このへいわがずっとつづいてほしい」
よなぐにじまのあさとゆうきさん。
6さいのあさとさんのねがいを、はせがわよしふみさんがえほんにしました。

